

キリストの生涯

The life of Christ

マタイの福音書
を基礎として



第1巻

導入と幼少年期



評価版

Compendium of PASTORAL THEOLOGY（牧会学の概論）

キリストの生涯 I（マタイの福音書を基礎として）

The life of Christ (Based on the Gospel according to St. Matthew)

出版・発行：Grace House Okinawa.

2018 年 7 月 初版

THE LIFE OF CHRIST (Based on Matthew's Gosple)

SEAN International Ministries

Copyright SEAN INTERNATIONAL

目 次

ユニット A

第1課： ローマ帝国	7
第2課： パレスチナの政治情勢	19
第3課： 福音書の著者、マタイ	25

ユニット B

第4課： 天の御国	35
第5課： 王キリスト	45

ユニット C

第6課： キリストの生涯の五つの段階	59
第7課： パレスチナの土地	69
第8課： 三年間のミニストリー（宣教活動）	75

ユニット D

第9課： 「架け橋」のシステム	85
第10課： マタイの福音書の構成	97

ユニット E

第11課： 三つの基本的な技法を用いて聖書を学ぶ	
—パート1	109
第12課： 三つの基本的な技法を用いて聖書を学ぶ	
—パート2	117

ユニット F

第 13 課： 王の誕生の告知	125
第 14 課： 系 図 — パート1	139
第 15 課： 系 図 — パート2	149

ユニット G

第 16 課： 神の御子	163
第 17 課： 人の子	177
第 18 課： 偽りの教義	191

ユニット H

第 19 課： 神の約束	203
第 20 課： 約束の用い方	213

ユニット I

第 21 課： ヘロデー族	225
第 22 課： イエスの幼年期	235
第 23 課： エジプトでのイエス	249

ユニット J

第 24 課： イエスの主権	265
第 25 課： イエスの少年期	277

付録

付録 1： 地 図	289
付録 2： 図 表	301
付録 3： テスト	305

ユニット(単元) A

ゴール (目標)

これらの目標を注意深く読みましょう。そして、あなたがこのユニットを学び終えるとき、ただ学んだことを、丸暗記して覚えるだけでなく、グループミーティングで話し合うときに、あなたによりアイデアを授けます。

あなたが下記のゴールに到達できるように、ユニットを完全にマスター(習得)しましょう。

1. イエスの御国のメッセージは、混沌とした政治情勢の中に住んでいた、イエスの時代の人々、そして私たち現代の時代の人々にとってさえ、非常に重要であることを、説明しましょう
2. 天の御国に入る前には、取税人のマタイと熱心党のシモンとは、お互いに非常に根深い憎しみを抱いていた間柄でした。なぜ、そういう立場に陥っていたか、その理由をいくつか挙げましょう。
3. 争いや不和、憎しみが及ぼすそのような感情や悪影響を、天の御国の中で、どのように克服し、乗り越えていくかを、聖書は何と教えているのかを、グループミーティングに参加して、話し合しましょう。

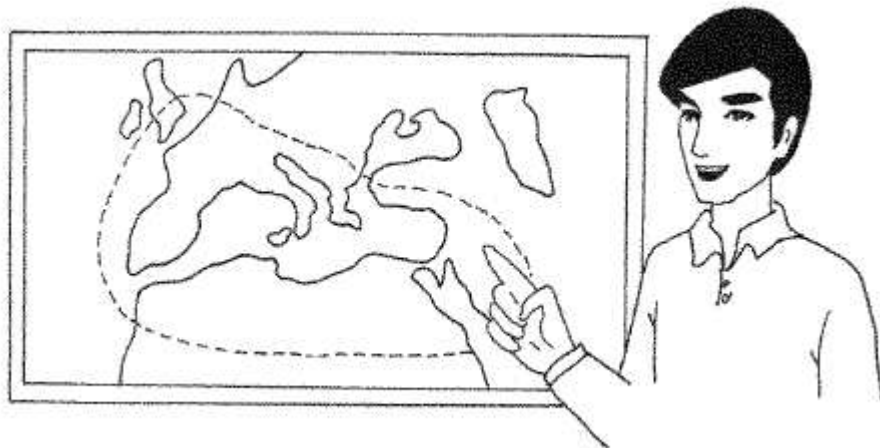
第1課 (LESSON 1)

ローマ帝国 (The Roman Empire)



はじめまして、この学課によろこそいらっしやいました。
私はこのコースを導くあなたがたの教師です。一緒に
イエス・キリストの生涯を学んでいきましょう。

あなたがたが、このテキストを興味深く学び、そして
実際に役立つミニストーリー(宣教活動)ができる学習と
なることを信じています。



イエスが住んでおられた国やその地に住んでいた人々を知ることは、イエスの生涯を
理解するためには、非常に重要なことです。

この最初の学課では、そのことを学んでいきましょう。



では、神の御霊が、私たちにきっとすばらしい知恵を授けてくださることを信じて、一緒に勉強していきましょう。

まず、最初にしなければならないことは、
私たちが学ぶときに、神が助けてくださるように、お願いすることです。
そこで、少し時間をとって、あなたがこれからいろいろ学んでいくこと
について、主に語り、祈っていきましょう。



1. 1 イエスは、今日、イスラエルといわれている国で、ユダヤ人の両親から生まれました。正しいものには○、間違っているものには×を記入しましょう。

- a. _____ イエスはローマ人でした。
- b. _____ イエスはユダヤ人でした。
- c. _____ イエスはイスラエルの国で生まれました。
- d. _____ イエスの両親はギリシャ人でした。

注意！



問題の解答は下の欄にあります。あなたの解答が正しいかどうかをチェックしてください。もし間違っていたなら、訂正してください。次のページからも、同様に答え合わせと訂正を行ってください

1. 2 よくできました。さあ、下記の空欄に記入しましょう。

当時、ローマ帝国と呼ばれていた国に、イエスは住んでおられましたが、けれど、イエスや同郷の仲間たちはローマ人ではありませんでした。

イエスや仲間たちは _____ 民族でした。（答え合わせを忘れないように）

1. 3 そのうちに、ローマについてより詳しく学んでいきますが、今のところは、イエスの住んでおられた国の名前を、現代、私たちが使っている国名とは異なった呼び方を、ローマ人がしていたことだけを、知っているだけで、十分です。ローマ人はその国名を、ペリシテの国にちなんで名付けました。ローマ人が用いていた、イエスの住んでいた国とはどこの国でしたか。それはペリシテ(Philistine)という言葉に最もよく似ています。

- _____ イスラエル(Israel)
- _____ パレスチナ(Palestine)
- _____ ローマ(Rome)

解答

1.1 a. X b. ○ c. ○ d. X

1.2 ユダヤ 1.3 パレスチ

- 1.4 イエスとその同胞(同国人)は、今日、イスラエルと呼ばれている国の出身者でした。それはイエスやその仲間たちがイスラエルで生まれたことを意味します。
- a. ユダヤ人はパレスチナの出身者でしたか。それとも外国人でしたか。

- b. イエスの時代では、パレスチナで生まれた人たちを何人といいましたか。

- 1.5 パレスチナはイエスが住んでおられた国でした。けれど、パレスチナのことをエルサレムの都のように、国の中にある一つの都市だと、勘違いしている人が多いです。
それゆえ、当時のユダヤ人の国はどこかと聞かれたら、_____だと答えましょう。エルサレムだとは答えないでください。
- 1.6 イエスやその従者たちも、パレスチナの出身者ではありましたが、_____と呼ばれていました。パレスチナ人だとは言わなかったことを覚えておきましょう。
- 1.7 イエスの時代、パレスチナの国には、ユダヤ人だけでなく多くの他国の人々が住んでいました。当時のローマ帝国は、強大な軍事力を持ち、多くの国々を征服し占拠していました。ローマ帝国に支配されていた、パレスチナの国には、多くのローマ兵が駐屯していました。しかし、ローマ兵たちは永住していたわけではありませんでした。
ローマ兵はパレスチナの国の出身者でしたか、外国人でしたか。_____
- 1.8 イエスの時代には、_____は多くの国々を征服し占領していました。同様に、パレスチナも_____の支配下にありました。
- 1.9 そういって、イエスの時代、パレスチナの国には、少なくとも二つの国籍の人々、つまり、ユダヤ人とローマ人とが住んでいたことがわかります。
- a. パレスチナの国での外国人はどちらですか。 _____
- b. パレスチナの国の出身者は何人ですか。 _____
- 1.10 イエスの時代では、イエスの国は_____と呼ばれていました。
そして、_____によって支配されていました。

解答

- 1.4 a. 出身者 b. ユダヤ人 1.5 パレスチナ 1.6 ユダヤ人 1.7 外国人
1.8 ローマ帝国、ローマ帝国 1.9 a. ローマ人 b. ユダヤ人
1.10 パレスチナ、ローマ帝国

図表 1



図 1

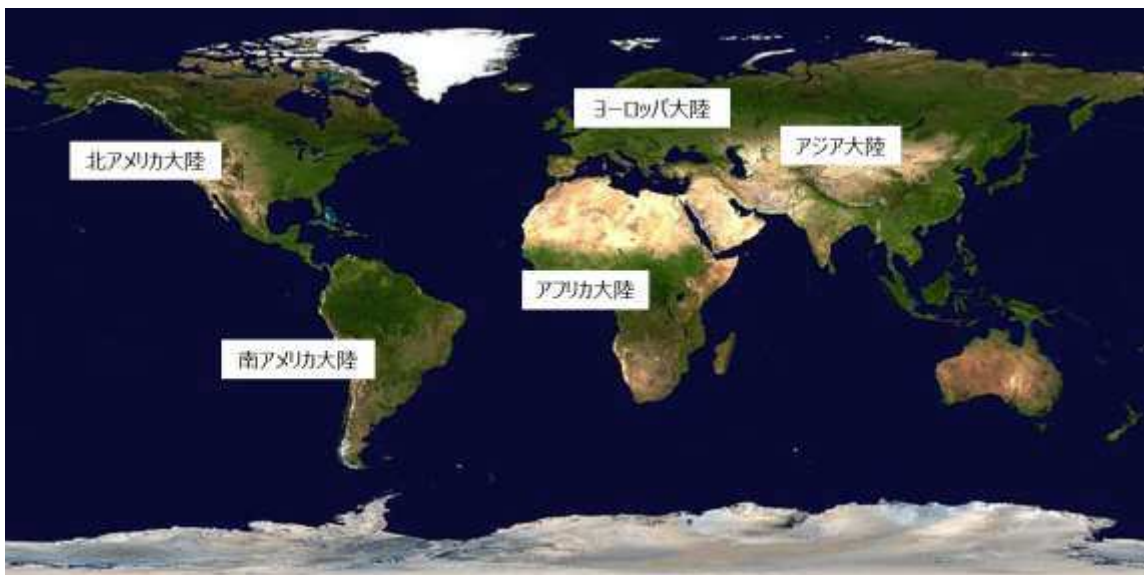


図 2

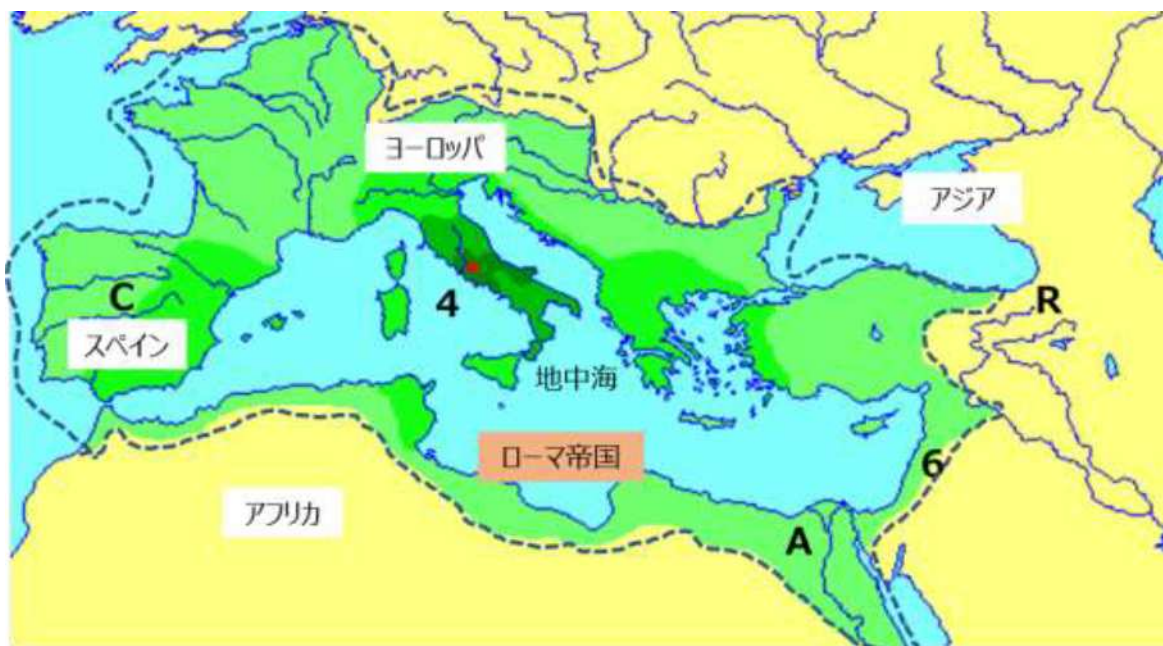
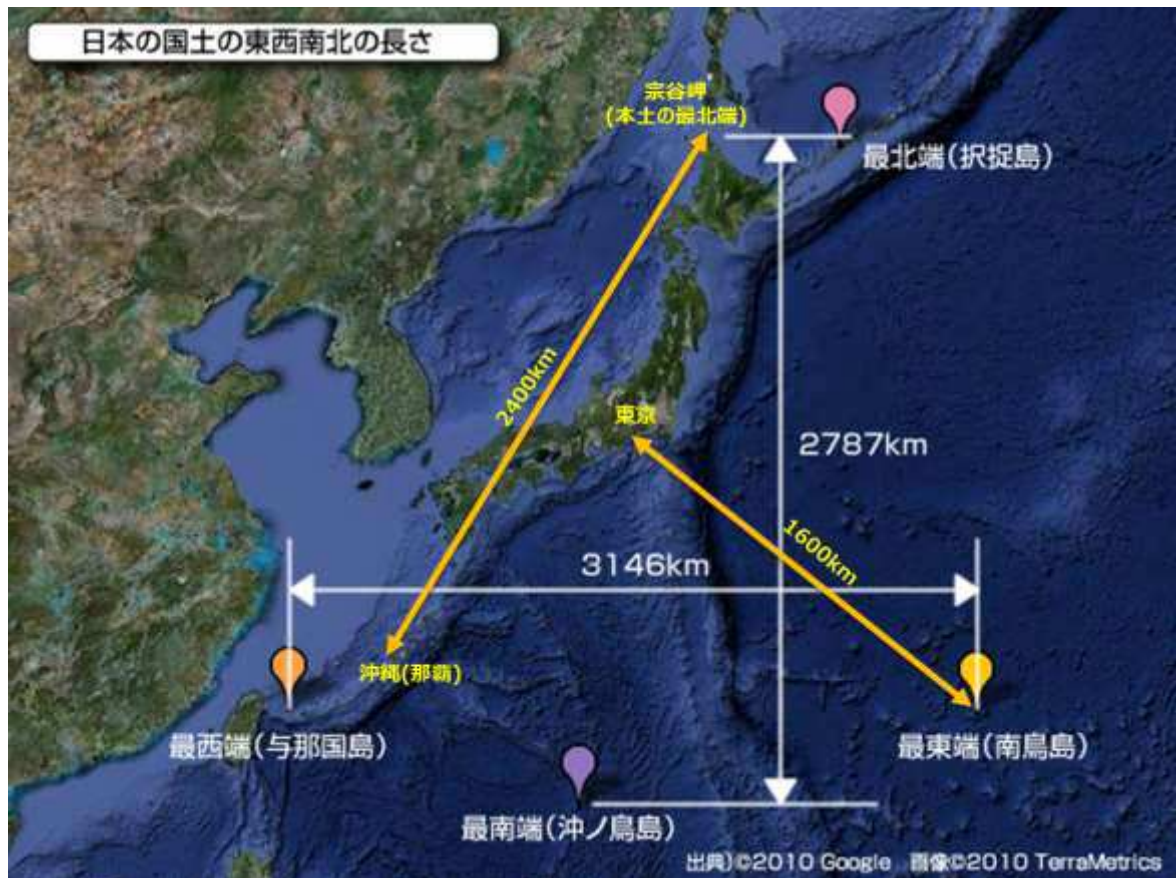


図 3

図表 2



出典: [JICE 国土情報センター](http://www.jice.or.jp/)
<http://www.jice.or.jp/>

テスト 1

- [illegible]